

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

	コード	名 称	会計	コード	名 称
事業名	1307	浄化槽一般管理経費	12	12	浄化槽事業特別会計
			01	01	総務費
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	01	01	総務管理費
			01	01	一般管理費
担当部課名	青山支所産業建設課		101	101	一般管理経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	01	一般管理経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市設置の浄化槽	適正管理を行い、河川の水質改善に努める。
本年度事業内容	月々の使用料を徴収し、市が維持管理(法定検査、清掃、保守点検等)を行った。	
根拠法令・要綱等	伊賀市戸別合併処理浄化槽の整備に関する条例	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)	事業費(B)	7,014	15,174	14,479
	委託料			
	その他	7,014	15,174	14,479
	合計(A+B)	9,894	18,054	17,359
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	6,380	13,227	13,227
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	2,881	2,893	2,893
	一般財源	633	1,934	1,239
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
維持管理費徴収率	%	99.9	100	100			

情勢の変化及び事業の改善点等

毎年浄化槽設置基数が増加し、管理件数も増加するにつれ、使用料の滞納が種々の事情で発生し、収納率が低下する恐れがある。今後は、それを防止するため、啓発活動等の対策にも取り組む必要がある。

評価	達成度	4	公共下水道事業や農村集落排水事業の導入が不可能な山間の地域にあつては、本事業が最も有効な水質保全対策であり、こうした地域では、河川の水質に関心が低い。生活の近代化のため、トイレの水洗化には関心が高いと考えられるので、雑排水も含め、普及率100%を目指し、強力に推進する必要がある。
	効率性	4	